

私たち夫婦には三人の娘ハウン(8才)、ハヨン(6才)と産まれたばかりのハナがいる。みな神様の恵みの中でかわいく健康に成長している。三番目の娘ハナは神様の特別な愛と恵みによって産まれた。

2007年12月末頃、私はある聖徒とお金の取引きをするという神様に喜ばれないことをした。私と妻イ・ヒョンジョン執事は毎月、数十万円相当の莫大な利子とノンバンク業者の借金督促などでノローゼになるほどだった。私のせいで起こったこの事で妻はひどく苦しんで、よくけんかをした。このようなことが続いているうち、2009年5月、身ごもった妻は初期からよく出血し、その量も非常に多かった。一瞬、流産したかと思って病院に行ったら、幸いにも異常なしと言われた。9月18日、金曜徹夜礼拝1部をささげている最中だった。何か液体のようなものが下から出ていて妻が言った。



健康に産まれた末娘ハナを見つめて幸せそうなチェ・ジョンファン執事家族

## 「妻は羊水なしで赤ちゃんを産みました。ハレルヤ！」

チェ・ジョンファン執事(2大大12-1教区組長)

「あれ! これ何だろう?」「あなた! 出血しているみたいよ。たくさんで、スカートが全部濡れてしまったわ。」

礼拝席のシートが濡れるほど流れ続けた。その時、妻が紺色のスカートをいれていたで、出血しているのだと思った。ふだんも時々そんなことがあったので、たいしたことではないと思った。その時が妊娠19週目だった。数日後、妻のお腹がへこんでいるのを見つけた。

「君! どう見てもおかしい。なんでお腹がへこんでるんだ? 産婦人科に行って検査してもらったらどうだ。」

9月28日、近くの産婦人科で超音波検査をした。お腹の中に羊水がないというではないか! 羊水は子宮の羊膜の中にある液体で、胎児の発育を助けて、出産の時に流れて分娩しやすくする役割をする。担当の医師は、非常に危険な状態だから大きい病院に移りなさいと言った。9月30日、羊水過小症(お腹の中に羊水がほとんどない症状)という診断を受けて入院した。

なぜ妻がこんなふうになったのだろうか? 妻と不和なこともあったが、何よりも私が聖徒の間でお金の取引きをしたことと保証人になったことが、神様のみことば(箴言22:26)に聞き従わなかった大きい罪

だと悟った瞬間、魂を砕いて罪を告白した。私のせいで苦しんでいる妻と子どもたちにすまなかった。堂会長イ・ジェロク牧師のところへ行き、悔い改めた。その時、先生は暖かい愛と勧めのことで私たち夫婦をいだけてくださった。私は忠実な働き人になるだけでなく、妻と子どもたちにとっても良い夫と父になろうと心を固めた。ただ信仰で進んでいこうと言うと、妻も快く理解してくれた。

「すべてを神様にゆだねましょう。堂会長先生に信仰によって祈りを受ければ、大丈夫でしょう。」

「そう、そうだと。必ず答えられるよ。」

私たち夫婦は神様に信仰を示した。「赤ちゃんがどうにかになったら、どうする?」という心配はしなかった。

10月4日主日、私は堂会長先生のところに行って、祈りを受けた。心が安らかだった。堂会長先生はイ

エス・キリストの御名によって祈った後、「開指当時も羊水なしで出産した方がいますよ」と言われた。私は信仰によって「アーメン」と言った。その時、病院で様子を伝え聞いた妻も、信仰によって祈りを受けて慰められた。ふつう水分をたくさん摂取して、ぶどう糖を注射すれば、日

ごとに羊水ができるが、堂会長先生の祈りを受けた後は、異常なほど破裂した羊膜の穴から前よりもっと多くの羊水が流れ出るのだった。その量がどんなに多かったか、一日に2、3個の生理用ナプキンでも足りなくて、下着までびしょりになった。しかし、私たちは神様が堂会長先

生の祈りを聞かされたこと信じたので、羊水がなくても健康な子どもが産めると信じて、熱く祈った。

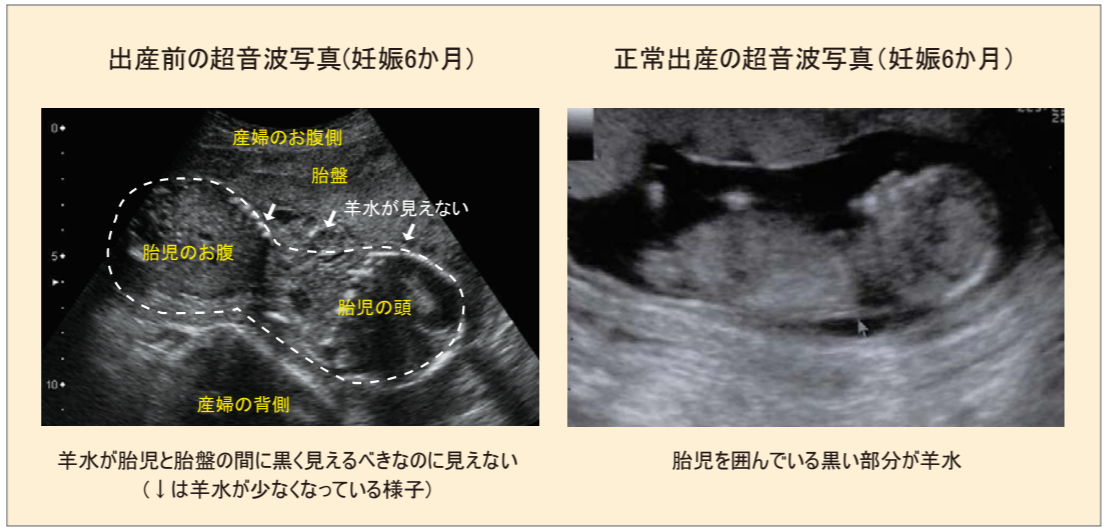
医学的には、羊膜破裂で細菌に感染すると、胎児を流産するか、産婦が危険になるそうだ。また、産婦のお腹の中に羊水がなければ、奇形児になったり、胎児の発育と体温維持が難しくなったりして、非常に危険だとのことだ。

その羊水がほとんど抜けた状態で4か月以上を過ごした。しかし、誰でも堂会長先生の祈りを聞かれる神様のみわざを否認できないだろう。「羊水なしでも出産した方がいる」と言われたのは、私たちに信仰と確信を与えるためだったことを後で悟った。私たちは堂会長先生の祝福の祈りを受けたので、安産で栄光をささげるといつも信仰の告白をした。

2010年1月3日、出産予定日を1か月後に控えて、堂会長先生に出産の祈りを受けた。

「父なる神様! 胎児の体重もちょうどよく、健康に産するようにしてください。」

神様のみわざが早く現れた。祈りを受けて三日目、つまり出産予定日より早く、妻は妊娠9か月(35週)で健康な赤ちゃんを産んだ。1月2日、超音波検査当時の体重が2.020グラムだったのに、祈りを受けて三日目で、約600グラム増えた2.600グラムの赤ちゃんが産まれたのである。出産の直前、担当医師が低体重だから新生児集中治療室か保育器に入る可能性があると言った。しかし、医師にはどう知りえるだろうか。神様の驚くべきみわざを...



出産前の超音波写真(妊娠6か月) 正常出産の超音波写真(妊娠6か月)  
羊水が胎児と胎盤の間に黒く見えるべきなのに見えない(↓は羊水が少なくなっている様子) 胎児を囲んでいる黒い部分が羊水

### 日本支教会の連絡先

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNBS-6衛星で同時にささげています。

- ・イエス・キリスト飯田万民教会  
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4  
T) 0265-56-8286  
http://iidamanmin.to.cx/
- ・名古屋万民教会  
〒465-0014 名古屋市中区東上菅 1-916  
T) 052-774-8874
- ・イエス・キリスト山形万民教会  
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4  
T) 0237-43-0771
- ・イエス・キリスト別府万民教会  
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41  
T) 0977-23-8980

- ・イエス・キリスト大阪万民教会  
〒591-8023 大阪府堺市北区中百舌島町  
5-775-15  
T) 072-220-5289  
http://www.eonet.ne.jp/~osakamanmin/
- ・イエス・キリスト旭川万民教会  
〒071-8144 北海道旭川市春光4条3丁目 11-23  
T) 0166-53-0652
- ・イエス・キリスト東京田端万民教会  
〒114-1102 東京都北区田端新町 2-25-3  
T) 03-3809-3326  
http://tabata.manmin.or.kr/

- ・イエス・キリスト川崎万民教会  
〒210-0818 神奈川県川崎市川崎区中瀬2丁目12-8  
グリーンヴァレ 301号室  
T) 044-277-0178
- ・イエス・キリスト松本万民教会  
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343  
T) 0263-57-0003
- ・イエス・キリスト舞鶴万民教会  
〒624-0913 京都府舞鶴市宇安久 138  
T) 0773-75-5656  
http://www.manmin.jp/
- ・岡山万民教会  
〒701-2155 岡山市北区中原460  
T) 086-275-7276

- ・イエス・キリスト八千代万民教会  
〒276-0045 千葉県八千代市大和田 670  
T) 047-483-3587
- ・イエス・キリスト銚田万民教会  
〒311-2102 茨城県銚田市台湾1080-6  
T) 0291-39-9177
- ・イエス・キリスト東京万民教会(東京万民宣教センター)  
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13  
T) 03-6915-1740
- ・横浜鶴見福音教会(協力)  
〒230-0047 神奈川県横浜市鶴見区下野谷町3-104-4  
T) 045-521-5843

### 01 ニュース

第18回連合聖潔神学校および第3回MIS卒業式

### 02 いのちのみことば

信仰の量り(17)

信仰の量りと善の四段階との関係、御聖の人になっても捨てるべき「肉の痕跡」

### 03 海外宣教レポート

「聖潔の福音でラテンアメリカを覆いました」

中南米最大のキリスト教放送局エラセを通して放送宣教とペルー万民教会、高山地帯の宣教報告

### 04 証し

「妻は羊水なしで赤ちゃんを産みました。ハレルヤ！」

チェ・ジョンファン執事(2大大12-1教区組長)



## 「愛は律法を全うする」 第18回連合聖潔神学校および第3回MIS卒業式が行われる



2月11日、万民中央教会本聖殿で第18回連合聖潔神学校および第3回MIS(マンミン国際神学校)の卒業式が行われ、堂会長イ・ジェロク牧師は「愛は律法を全うする」(ローマ13:10)という説教をした。

イ牧師は「連合聖潔神学校は神様の摂理のうちに解き明かされた聖潔の福音で武装する預言者学校であり、この終わりの時に神様の尊い道具として用いられる御霊の戦士を育てる学校です」と語り、神様が望まれるまことの主のしもべになるためには、愛で律法を全うして、霊的なみことばの武装をしなけ

ればならない。そのためには火のような祈りが裏打ちされなければならぬと強調した。イ牧師は「自分は主を受け入れた後、初心の者の時から時間さえあれば山の祈禱院へ行って、主を呼んで祈った。その祈りが積まれて、難解な聖句を解き明かしていただいたし、神の力を現わすことができた」と体験を語った。

イ牧師は続いて「MMTC(マンミン世界宣教訓練院)とMIS(マンミン国際神学校)が輩出した宣教師が海外に出て行き、大いに活躍して数多くの支・協力教会を建てているのを見ると感謝だ。彼らは祈る主のしもべであり、神様を愛して、みことばどおり生きて、聞き従っている」と言い、「私はすべての面で欠けた者だが、ただ神様のみことばに聞き従ったので、今日まで働きを続けることができた。在学生はさらに奮い立つように、また、韓国国内の支教会からも主のしもべを大勢輩出し、中小都市まで開拓して、民族福音化を実現するように」と勧めた。説教

後、卒業証書の授与があった。今回、MISからはリン・チェサン伝道師(台湾)、ラジャドライ・ヘレン・パルシ伝道師(インド)、四條順子勲士(日本)の三人が卒業した。この卒業式では教務科長イ・ジュンウォン博士が司会と学事報告を、副総会長イ・ジョンホ長老が代表祈禱をした。

また、学長キム・サンテ博士が訓示を、MIS総長ジョン・グヨン博士が祝辞を、卒業生代表ソン・スヒ教育伝道師が答辞を述べた。新生・聖潔・神癒・復活・再臨の五重福音を慕う世界の教会者たちの要請で2004年に設立されたMISは、海外のキャンパスとオンライン講座を通して、理

事長イ・ジェロク牧師の「十字架のこぼれ」「信仰の量り」「霊、たましい、からだ」等のメッセージを海外の主のしもべと働き人を対象に教育している。現在、アメリカ、ベルギー、ロシア、インド、中国、台湾など、世界各地にキャンパスがあり、昨年11月からは日本語の働きがソウルキャンパスで始まっている。



第18回連合聖潔神学校および第3回MIS卒業式にてイ・ジェロク牧師の説教を傾聴している卒業生

### 台湾タイパイ国際図書展にイ・ジェロク牧師著書展示



台湾タイパイ国際図書展韓国館ブースで台湾万民教会のキム・ギョヒ牧師(右)とリン・チェサン伝道師(左)

堂会長イ・ジェロク牧師の定番『天国・上下』(中国語繁体字)が1月27日から2月1日まで台湾タイパイ国際図書展に展示された。この図書展は対韓出版文化協会が2010年国際交流事業の一環として韓国館を設置、出版社が積極的に国際市場に参加できるように機会を提供したものである。

### 神の力のハンカチで タイに主の十字架を刻む!

国民の95%以上が仏教徒の国、タイ。この国にも活発に福音宣教が行われている。2月6日、イ・ジュウォン宣教師は北部チェンライ近くの高山族のメスアイ区で伝道集会を導いた。この日、イ宣教師は「イエスがなぜ私たちの救い主であるのか」を説教した後、堂会長イ・ジェロク牧師の神の力の働きを紹介するビデオ「神の力」を上映した。続いてイ・ジェロク牧師がイエス・キリストの御名によって祈って神の力が込められたハンカチ(使徒19:11-12)で祈ると、マヒしていた手が動くようになったなど、証しが多く出て、悔い改めのみわざも起こった。

# 信仰の量り(17)

「私は、自分に与えられた恵みによって、あなたがたひとりひとりに言います。だれでも、思うべき限度を越えて思い上がってはいけません。いや、むしろ、神がおのおのに分け与えてくださった信仰の量りに応じて、慎み深い考え方をしなさい。」(ローマ12:3)

今回は信仰の量りと善の四段階との関係、御霊の人になっても捨てるべき「肉の痕跡」について語ります。

## 1. 信仰の量りと善の四段階との関係

信仰の量りを「善の四段階」に関連させて説明してみよう。

善の一段階は、相手が悪をもって対するとき、心は穏やかではありませんが、我慢して悪をもって報いない段階です。世では善の一段階になっただけでも、「本当に心の良い人だ」とほめられます。信仰の量りという、神のみことばどおり行なえる信仰の三段階がこの善の一段階に当たります。しかし、これでは神様はまことの善だと認められません。うわべで悪を行なうのではないけれど、心の中に悪が残っているからです。

次に、善の二段階は、相手が自分に悪をもって対しても、何の悪い感情もいだかない段階で、心に揺れ動くものがなく、相手を赦すことができます。こういう善に至ったならば、心に悪がないので、御霊に属する心になったということであり、信仰の四段階に当たります。

信仰の四段階でも、さらに深く入った人、あるいは、信仰の五段階の入り口に至った人は、悪をもって対する相手を何の悪い感情もなく赦すだけでなく、かえって良い言葉と行ないで相手の心を溶かして、感動を与えることもできるのです。これが善の三段階です。

最後に、善の四段階になれば、悪をもって対する相手のために自分のいのちまで渡すこともできる献身と犠牲の愛が臨むようになります。これは信仰の五段階に当たり、神様に喜ばれる人々の姿です。イエス様は良い人のために代りたでなく、悪い人まで救うために、命でさえ渡してくださいました。十字架で死にかけておられるながらも、自分に釘を打った人々のために赦しを請うた祈りをささげられました。まさにこのような愛を施すことができるとき、最高の善の段階に至ったと言えるのです。

神様の前に認められる善といってもいろいろな段階に分けられるように、信仰の四段階でもその程度が違います。「どれほど神様に似せられたのか」「どれほど御霊の実がうるわしく結ばれたのか」によって、10パーセント、40パーセント、あるいは80パーセントと違ってくるようになります。したがって、御霊の実が結ばれた程度を見ても、どのくらい信仰が推し量れます。

信仰の三段階は、みことばどおり行ないながら、心にある悪を捨てていく段階ですから、悪を捨てたほど御霊の九つの実が結ばれます。ただし、完全に結ばれたというよりは、ただ実が結べる基盤が整えられたようなものです。りんごの花が落ちれば、花があったところにとっても小さい実が結ばれます。まだ取って食べるほどのものでもなく、あまりにも小さくて、実と言ふに足りないのですが、実が熟する兆しはありそうです。

神様をこの上なく愛して、心の罪の性質をすべて捨てて信仰の四段階に入れば、御霊の実が形を現し始めます。しかし、この時も完全なものではなく、御霊の実のうち、ある実



堂会長イ・ジェロク牧師

は50パーセント、あるものは70パーセント実っているところだと言えます。それなら、御霊の歩みに入った四段階と、全く聖なるものとされた五段階とは、どんな違いがあるのでしょうか？ 信仰の四段階では、罪をすべて捨てたとはいえず、まだ「肉の痕跡」と言えるようなものが残っています。人が原罪を持った罪人として生まれて、罪と悪によって変わってしまった世で生きてきたので、肉の人として生きてきた痕跡が残っていることもあるのです。それまで完全に捨ててこそ、全く聖なるものとされて、神の個性にあずかれるようになります。

## 2. 信仰の四段階の人が捨てるべき「肉の痕跡」

「肉の痕跡」は、御霊の人に変えられる以前に持っている、もともとの性分や気質ともかなり関連があります。たとえば、ある人は態度をはっきり決めて、真実だし、正しい性分ですが、愛と徳が欠けている面があります。ある人は愛を実践することが好きで、愛は豊かなようですが、感情に支配されやすかったり、言葉と行ないが荒っぽかったりすることがあります。

このように、信仰の四段階に入った後も、たとえ悪ではなくても、前に持っていたこういう部分がしみのように残っているのです。まるで、垢がしみついて黄ばんだ服が洗濯をしても元の色へ戻らないようなものです。このように、ひとりひとりがこの地上に生まれて、人間耕作を受けるために肉の世で生きていかなければならぬ。相手の信仰と心と立場をもう一度顧みて、たとえ働きの進み方が遅くても、真理に逆らわなければ、時は耐えて待つべきなのです。「私は本当に良い意図で語っているのに、これが本当に神の国にとって益になる方法なのに、あの人たちが悪いから私の言葉を受け入れられないんだ」と、相手のせいだけにして残念がるだけならば、自分にもそれ以上発展がありません。

信仰の四段階の入り口で霊的な成長の停滞が起きる場合が、まさにこのような理由によるのです。自分は御霊の歩みに入って、悪がないし正しいので、自分の正しだけを見て、さらに深い善の次元が悟れないのです。ですから、信仰の四段階に入って悪がないとしても、こういうことまで完全になるためには、もう一度神様がお許しになった訓練を受けていくのです。これについては次回、さらに詳しく説明します。

アブラハムには、万が一の事態が起これば、十分に迎え撃って対抗する勇気もあったし、神様の方で勝るといふ信仰もありました。それにもかかわらず、初めから問題が起きそうな素地がないように、自分なりに賢く対処したつもりで、サラを妹だと言う方法を使ったのです。これは真理に逆らう肉の思ひではありませんが、この地上で人間耕作を受けている人なので、そのような限界の中であらう人間の思ひでした。このようなものを「肉の痕跡」と言うのです。

もし、アブラハムが完全に、すべての面で御霊に導かれていたなら、こういう一瞬の思ひも働かさないで、完全に神様により頼むようになるでしょう。それで、神様は、アブラハムが完全に神様により頼む人になれるように、訓練を受けるよう許されました。エジプト王がサラを自分の妻にしようと連れて行ってしまったのです。この危機状況で神様が働かれて、パロの家に災いを下して、アブラハムは劇的に妻を取り戻します。アブラハムはそれ以前も神様を信頼していたのですが、この出来事を通して、もう一度神様の全知全能さを切々と体験して、神様にさらに完全に頼る信仰を持つようになりました。

1年間、毎日午前にはセミナーを、午後には集会を開いて、宣教地域をくまなく回った。ラテンアメリカには、小さい島国を除けば34か国があるが、こういう方法ではいつ福音を伝えるか、終わりが見えなかった。

そうしていたある日、神様はある場面を見せてくださった。大きな貯水池のような、果てしなく広い海があった。私がその水をバケツで汲んで、やたらに走って行って別のところに移しては、また走って行って移し、を繰り返しているのだった。あの多量の水をいくつかバケツで全部移すのか、先が見えなかった。その時、その巨大な水の流れに私が棒で線を引いたら、その方向に水が体験すると言って、24編の「十字架の物語」シリーズの放送を提案した。彼は快く承諾して、毎週日、午前11時ずつ放送した。その後、視聴者から感謝の電話が殺到した。放送後の働きは確かに進んできた。

エンラセテレビ(社長:ホナス・ゴンザレス)は中南米最大のキリスト教放送局で、中南米のほとんどの国で視聴している。エンラセUSAとDish Netを通して、アメリカ合衆国のスペイン語使用者も視聴可能だ。24時間、衛星とケーブルのキリスト教放送局が8つの衛星を使用して、中南米5000か所以上から放送ステーションを通して56か国に届いている。視聴人口は1億5000万人で、インターネット放送を同時進行している。視聴地域は中南米全域、カリブ海全域、北米、ヨーロッパ(スペイン、ポルトガル)、北アフリカ、中東地

域である。この他に、JBN放送局(社長:エスタバン・ハンダール)はNSS-806を使用し、中南米2500か所以上の放送ステーションを通して中南米に送出している。視聴地域は北米、中南米全域とヨーロッパである。また、ペルーに送出している26のラジオ(一部テレビ含む)放送の他にも、様々な国にテレビとラジオによる放送宣教を拡張している。放送が入ったところには、多くの人がスペイン語に翻訳されたイ・ジェロク牧師の著書を読んでいる。

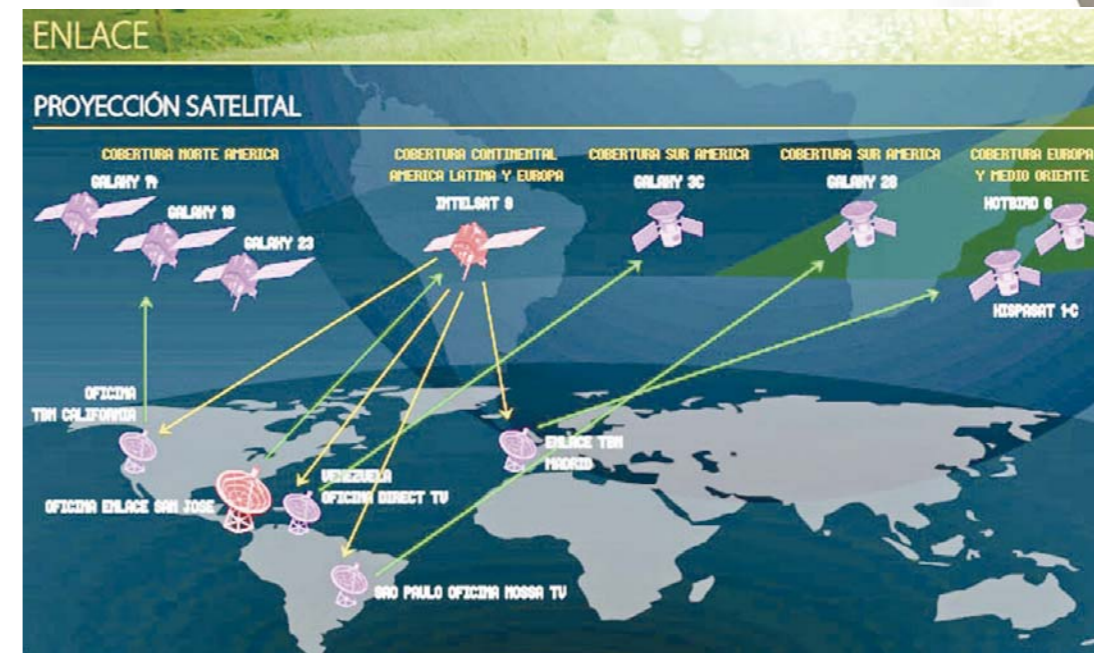
◆ **中南米最大のキリスト教放送局エンラセを中心にした働き**

2005年、アルド・ギド聖徒と一緒に堂会長イ・ジェロク牧師の代表的説教「十字架の物語」をスペイン語でダビングし始めた。その後、各国のキリスト教放送局を訪ねた。放送を通してこの聖潔の福音でラテンアメリカを覆えるという自信がわいた。初めはあてもなく訪ねて行った。コスタリカで行く飛行機の中で、ふっとエンラセ放送局が思い浮かんだ。コスタリカの教会者の集いでエンラセ放送局と輪が作れるという気がした。はたしてその日、エンラセ放送局の社長に会うことができた。彼はすでに2002年ホンジュラス、2004年ペルー連合大聖会を通して堂会長イ・ジェロク

# 「聖潔の福音でラテンアメリカを覆いました」

## 中南米最大のキリスト教放送局エンラセを通じた放送宣教とペルー万民教会、高山地帯の宣教報告

イ・ジェホ牧師(ラテンアメリカ宣教師)



エンラセ放送は8つの衛星で中南米5000か所以上から放送ステーションを通して56か国に送出している。



コロンビア・バラキアでの教会者セミナー



アルゼンチン・ブエノスアイレス教会者セミナーで「神の力」ビデオを上映中。



アンデス中部地域集会で病人にハンカチの祈りを行っている。

ク牧師をよく知っていた。

私はDVD「十字架の物語」を出して、良い番組だから、まず信仰で放送すれば大きい祝福を体験すると言って、24編の「十字架の物語」シリーズの放送を提案した。彼は快く承諾して、毎週日、午前11時ずつ放送した。その後、視聴者から感謝の電話が殺到した。放送後の働きは確かに進んできた。

◆ **放送を通して続くセミナーと集会**  
コロンビアでは、シルビアという姉妹がエンラセ放送でイ・ジェロク牧師の説教を聞いて、自分が所属している教会の担任牧師に伝えた。その後、その牧師の要請で教会者と働き人400人余りが集まった集会が開かれた。ふつうセミナーと集会では、まず「神の力」ビデオを上映して、休憩時間に本教会の創立記念行事の公演ビデオを見せる。

域である。

この他に、JBN放送局(社長:エスタバン・ハンダール)はNSS-806を使用し、中南米2500か所以上の放送ステーションを通して中南米に送出している。視聴地域は北米、中南米全域とヨーロッパである。また、ペルーに送出している26のラジオ(一部テレビ含む)放送の他にも、様々な国にテレビとラジオによる放送宣教を拡張している。放送が入ったところには、多くの人がスペイン語に翻訳されたイ・ジェロク牧師の著書を読んでいる。

◆ **ペルー万民教会と高山地帯の宣教**  
2005年12月4日、ペルー万民教会を開拓した。祈りに答えられて、チャン・チョンヨン牧師が派遣された。キム・ヒャンスク夫人は聖徒全体を顧みて、家事を担当され、息子チャニャンとチャンミンは午後礼拝でビデオ撮影を担当、未っ子ジヒョンはリズムチームで仕えている。チャン・チョンヨン牧師と家族がどれ

ほど力になっているのか、神様に感謝するばかりだ。主日礼拝は午前DVDで、午後にはチャン・チョンヨン牧師と交代で説教する。また、ダニエル祈禱会と水曜礼拝をしている。

ペルーには牧師が聖徒の家を訪ねる習慣がない。牧師が聖徒の家を訪ねると言えば、なぜ来るのかと尋ねるほどだ。チャン・チョンヨン牧師がある男性聖徒を訪ねた時のことだ。彼は25年間、信仰生活をしてきたが、牧師が初めて訪問してくれたと感激した。召天されたおぼあさんのお宅に行った時は、家族がとても喜んで、花びらをまいてくれたという。他教会の聖徒たちも「このように聖徒の家庭を顧みているのだから、本物の教会ではないか」と羨んでいる。また、堂会長イ・ジェロク牧師に祈りを受けて神の力の込められたハンカチで祈ると、様々な病気がいやされ、問題が解決されている。

高山地帯ではテレビがまったく見られない。ラジオ放送はあるが、首都リマから送出される周波数は受信できない。そのため、イ・ジェロク牧師の説教テープやCDを持って、高山地帯のラジオ放送局を訪ねた。ある時、海拔4800メートルのところで集会を導いたことがある。その時、悪寒と割れるような頭痛と嘔吐を伴うめまいがして、息をするのも苦しかった。そこに集まった病人だけでも千人以上だった。私はソウルにおられるイ・ジェロク先生に祈りを依頼した。時間と空間を超えた祈りを受けた私は、1時間の説教、30分の悔い改めの祈り、参加した全員にハンカチの祈りを行うことができた。ほとんどの人が直ちにいやされた。私自身もとても感動した。

◆ **放送を通して続くセミナーと集会**  
2005年12月4日、ペルー万民教会を開拓した。祈りに答えられて、チャン・チョンヨン牧師が派遣された。キム・ヒャンスク夫人は聖徒全体を顧みて、家事を担当され、息子チャニャンとチャンミンは午後礼拝でビデオ撮影を担当、未っ子ジヒョンはリズムチームで仕えている。チャン・チョンヨン牧師と家族がどれ

どうしてこれだけだろうか。この他にも神様が施される聖霊のみわざは言葉ですべて表現できない。とどまることのない聖霊の働きでラテンアメリカ全域を覆うその日を見つめて、きょうも私は宣教地を広げるために走り走る。



Tel: 82-2-818-7042, 7063  
Fax: 82-2-818-7048  
www.manmin.org  
e-mail: ksy7042@hotmail.com



MANMIN TV

Tel: 82-2-824-7107  
Fax: 82-2-813-7107  
www.manmintv.org  
e-mail: info@manmintv.org



Tel: 82-2-818-7039  
Fax: 82-2-830-5239  
www.wcdn.org  
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

## 万民 ニュース

発行人: イ・ジェロク  
編集者: ビン・グンソン  
www.manmin.org/Japanese  
編集発行: 万民中央教会  
〒152-848 韓国ソウル市ククロ区クジン235-3  
TEL: 82-2-818-7042 FAX: 82-2-818-7048